

	A	B	C	D	E	F
1			請求書			
2					2007/07/13	
3	日下工機	様				
4						
5	お買い上げの商品につきまして、以下の通り請求申し上げます。					
6						
7	ご請求金額	¥18,480				
8						
9	商品番号	商品名	価格	数量	金額	
10	FP-BBL	フェルトペン太字黒	160	10	1,600	
11	BD-L	バインダー大	800	20	16,000	
12					0	
13					0	
14				小計	17,600	
15				消費税	880	
16				合計請求額	18,480	
17						

[数値] に通貨記号 (¥) と桁区切り記号が付けられた

DOLLAR 数値にドル記号と桁区切り記号を付ける

DOLLAR(数値, 桁数)

▶ 関数の解説

指定した [数値] を [桁数] で四捨五入し、ドル記号 (\$) と、桁区切り記号 (,) を付けた文字列に変換します。桁区切りや小数点の記号には、Excel の [オプション] ダイアログボックスの [詳細設定] で指定されている文字が使われます。

▶ 引数の意味

数値……………ドル記号 (\$) と桁区切り記号を付けた文字列に変換したい数値を指定します。

桁数……………四捨五入する桁位置を以下のように指定します。N は [桁数] の値を表わします。省略すると 2 が指定されたものとみなされます。

- N (正の数) ……………小数第 N+1 位を四捨五入
- 0 ……………小数点以下を四捨五入
- -N (負の数) ……………整数第 N 位を四捨五入

たとえば、[数値] が 1234.5678 で、[桁数] を省略するか 2 を指定した場合、小数第 3 位が四捨五入されるので、結果は「\$ 1,234.57」となります (小数第 2 位まで求められます)。

ポイント

- 戻り値は文字列ですが、数式のなかで数値として使うこともできます。
- 戻り値は文字列なので、DOLLAR 関数を入力したセルの表示形式に、数値の表示形式を適用することはできません。

エラーがでたときは

エラーの種類	原因	エラーとなる例
[#VALUE!]	[数値] や [桁数] に文字列を指定した	=DOLLAR("ABC",2)

1 関数の基本知識

2 日付/時刻関数

3 数学/三角関数

4 論理関数

5 検索/行列関数

6 データベース関数

7 文字列操作関数

8 統計関数

9 財務関数

10 エンジンリング関数

11 情報関数

12 外部関数

13 キューブ関数

付録